

農産物の機能性を追求する

農業技術者会議

食と農を科学する。



入場
無料

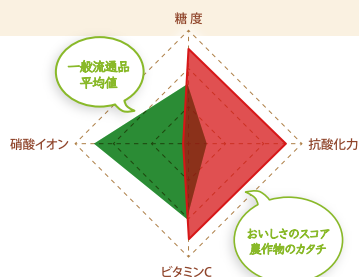
オーガニック・エコ フェスタ2017

Local & sustainable Tokushima

2017年 2月 25日 [土]

アスティとくしま 多目的ホール

徳島市山城町東浜傍示1-1 TEL:088-624-5111



栄養価コンテスト

栄養価の高い野菜と、そうではない野菜がある。栄養価の高い野菜とはどんな野菜なのだろうか？コンテストを通じて、その実際を確認していただきます。



農業技術者会議

栄養価の高い農産物の栽培方法を考える

農業の未来をつくる

栄養価の高い農産物がつくりだすこれからの農業

主催／オーガニック・エコフェスタ実行委員会

協賛／一般社団法人日本有機農業普及協会、JA東とくしま、生活協同組合コープ自然派、株式会社NTTドコモ、ベジタリア株式会社、有限会社ドリーム大地
共催／徳島県

後援／一般社団法人徳島新聞社、NHK徳島放送局、四国放送株式会社、株式会社エフエム徳島、株式会社エフエムびざん、徳島市、小松島市、中国四国農政局
一般社団法人オーガニックヴィレッジジャパン、特定非営利活動法人有機農業参入促進協議会

organic day.
「有機農業の日」に賛同します



近年、健康への関心が一層高まる中で、米や野菜といった農作物への評価も「見た目」から「中身」へと変化しています。大きさが揃った見た目のきれいなものより安心して食べられる、食べて「おいしい」ものを選ぶ人が増えているのです。「安心」、「安全」、「おいしい」この3つのキーワードが揃えば、おのずと「農」への関心も高まります。オーガニック・エコフェスタは高品質多収穫の技術力のある生産者と野菜本来の力を理解し、新しい食生活の提案を求める消費者、バイヤーとのマッチングを目指します。「美味しい」は作る人も食べる人も幸せにします。食べる人のことを思い作る。作ってくれた人に感謝しながら食べる。そんなつながりの場となることを期待しています。生産者も生活者も共に日本の食と農の未来について考え行動する時がきています。

2/25 [sat] プログラム

11:00~
12:00~
12:30~13:30

開場
オープニングセレモニー

栄養価コンテスト結果発表

テーマ／栄養価コンテストから見てきたこと・機能性野菜



東京デリカフーズ株式会社 研究開発室長 **武井安由知氏**

東京海洋大学大学院食品衛生学修士課程修了。東京農工大学大学院生物システム応用科学府生態系型生産システム教育研究分野博士課程在籍中。NR(栄養情報担当者)。食品保健指導士。施肥技術マイスター。J G A P指導員。産地別の野菜や果物の栄養評価、季節ごと、栽培方法ごとの抗酸化力データベース作成に従事。生産者・流通向けのセミナー等も実施。

13:45~15:45

農業技術者会議

テーマ／栄養価の高い農産物の栽培方法を考える



ミネラルの働きと作物・人間の健康

一般社団法人 食と農の健康研究所 所長(代表理事) **渡辺和彦氏**

ミネラルは人間の健康に大きな影響を与えている。現在の農産物がミネラル欠乏に落ちている現状を打破し、畑にミネラルを取り戻し、ミネラルたっぷりの健康な野菜をつくり、それを食べることで、人間の健康を取り戻す研究を行っている。



炭水化物施肥による高栄養価の実現

一般社団法人 日本有機農業普及協会 代表理事 **小祝政明**

農業技術だけではなく、植物、微生物、土壌などの自然の摂理を学ぶことにより、自然を守り、環境に調和した社会づくりに貢献できる人材を育成する。

種子の自家採取技術

秀明自然農法ネットワーク **佃文夫氏・橋本進氏・横田光弘氏**



佃文夫氏

愛知県名古屋出身。昭和46年11月生まれ。大学進学のため上京したが、何だかんだで、平成5年から、秀明自然農法を始め現在に至る。約1町5反で野菜を栽培している。



橋本進氏

モットーは『土がきれいになれば 世界は平和になる』。平地農村で紀ノ川の恵みを受け、世界遺産高野山を望む環境で、米・麦・大豆はもちろん、野菜(40~50品種)をすべて自家採種している。



横田光弘氏

まったくの非農家から自然農法農家として就農。「よりたくさんの人に、よりたくさん自然野菜を届けたい」との想いから、98年に農業生産法人(有)若葉農園をスタート。月に1000セットの会員野菜を全国に発送している。

16:00~17:00

農業の未来をつくる



次代の農と食をつくる会 代表 **西辻一真氏**

1982年福井県生まれ。幼少期に福井で見た休耕地をなんとかしたいと思い、自産自消の理念を掲げて株式会社マイファームを設立。その後、体験農園、農業学校、流通・小売、農家レストランなど様々な農業に関わる業種を立ち上げ、2011年より農林水産省政策審議委員に戦後最年少で就任。2016年、オーガニックエコ農業界の若手集団「次代の農と食をつくる会」を結成。



有機農業参入促進協議会 代表 **山下一穂氏**

平成10年に高知県にて新規就農。平成15年「超かんたん・無農薬有機農業」(農村報知新聞社)、平成21年「超かんたん・無農薬有機農業ムービー編」(トランスウェブ)、平成23年「無農薬野菜作りの新鉄則」(学研)など出版。



くまもと有機の会 **田中誠氏**

幼い頃より自然農法や無農薬農産物・無添加食品といった環境の中で育つ。有機農業を学ぶ中で「食と農の深いつながり」を痛感し有機農産物の流通会社「くまもと有機の会」に就職。有機農業の発展と普及のために活動する。



YASKI FARM **鳥越靖基氏**

就農前は音楽活動を行う。震災を機にメンバーと共に熊本県へ移住。有機農業サポートセンターにて研修を受け、現在はバンドメンバーと「YASKI FARM」を立ち上げ有機JAS認定事業者となり、有機野菜と音楽を奏でる。

17:00~17:50

オーガニック・エコ農産物の流通と消費者の声

テーマ/今、有機農産物に求められていること

テーマ/「オーガニックエコ農産物」の消費者視点と世界的動向

一般社団法人フードトラストプロジェクト 代表理事 **徳江倫明氏**

生活協同組合連合会 コープ自然派事業連合 顧問 **小泉佳久氏**



食品公害や環境問題への関心から、1978年有機農産物専門流通団体「大地を守る会」に参画。88年日本リサイクル運動市民の会と提携し「らでいっしゅぼーや」を興す。97年日本初オーガニックスーパーを開業。99年有機JAS認証機関「アファス認証センター」を設立。2016年千葉県八街に「農業生産法人シェアガーデン」を設立し、有機農業生産もしている。オーガニックファームジャパンなどを運営しつつ、生産者と販売者をコーディネートする企画・卸会社「株式会社オーガニックパートナーズ」を経営。



2002年生活協同組合連合会コープ自然派事業連合を設立。専務理事、理事長を歴任。現在顧問。同連合事業を2倍超えに拡大。組合員活動とともに有機農業を推進し、独自の食材セット企画によりこだわり農産物の利用を拡大。また消費者と生産者の「中身ある顔の見え関係」を進め、今年新たに農産物流通事業を提案し、株式会社コープ有機を設立。同連合顧問として、今後も有機農業や高栄養野菜の生産に挑戦する生産者と消費者を繋げグローバルな視点で捉えた国産派提案を積極的に行う構え。

19:00~

懇親会

会場／徳島グランヴィリオホテル

お問い合わせ

オーガニック・エコフェスタ実行委員会事務局

TEL.0883-52-2083

〒779-3602 徳島県美馬市脇町大字猪尻字若宮南131-2 ナカガワ・アド(株)内 FAX/0883-52-2080

MAIL/organic@adjapan.jp